

第24回生協ふれあいの森植樹祭「眺望山」開催報告

1. 日 時 2025年5月18日(日) : 10:10~12:00
2. 場 所 青森市内真部・眺望山自然休養林
3. 参 加 44名 うち幼児1名、小学生3名、中学生10名 取材：東奥日報、東北木材新報
コープあおもり(16名) 津軽保健生協(3名) 県民生協(5名) ※うち組合員14名
青森市立北中学校(11名うち中学生9名) 県生協連(4名) 青森森林管理署(5名)
4. 当日プログラム

10:10~10:20 開会式	県生協連会長 菅原 正 あいさつ 青森森林管理署署長 黒木 尚 様 青森市立北中学校校長 熊沢 健一様 プログラム説明・準備体操、記念撮影・移動
10:30~11:20	植樹方法の説明、植樹(ヒバ62本)
11:15~12:00	小川探検(水棲生物調査)、閉会



菅原会長



黒木署長



熊沢校長

5. 概要

・5月18日(日)、青森市眺望山自然休養林において第24回「生協ふれあいの森」植樹祭を開催しました。生協組合員家族や地元青森市立北中学校の生徒さん9名と引率の先生、青森森林管理署の皆さん、職員スタッフを合わせて44名が参加し、ヒバの苗木62本を植えました。県生協連では2001年から青森森林管理署と「ふれあいの森協定」を締結し、牛乳パックのリサイクル収益金をもとに植樹活動を実施してきました。25年間で、1,401人の参加により、4,072本のヒバを植樹できました。

・参加者は、やや急斜面の山道を登り、以前植樹した樹との間隔をとりながら、森林管理署職員の説明どおりに、唐クワを使って丁寧に1本1本植樹しました。続けての参加者が、慣れた手つきで作業をしていたり、日頃から畑仕事を手伝っているという地元中学生が、見事な腰つきで深く穴を掘る姿もありましたが、汗だくになりながら植え切りました。

・植樹後森林管理署若手職員の指導で、小川の石の裏から次々と水棲生物をバッドに採取することができ、環境が良い場所に棲む生物だと確認できました。



ヒバを植樹する参加者



～参加者の感想～

- ・昨年は初めてで、あっという間に終わってしまいました。今回は、ヒバの葉や根っこ、周りのヒバを観察したり、楽しめました。ありがとうございました。
- ・植えるのがすごく大変だったけど、生き物がたくさん見れてよかったです。楽しかったです。
- ・植樹という中々できない体験ができて、非常に良い経験になりました。子どもたちにも、学びの場としても貴重だと思いました。
- ・天気も気温もちょうどよく、森林浴にもなりました。未来のために、木(ヒバ)大きく育て♡
- ・昨年植えた木の成長をみるのができて良かった。
- ・あまりこのようなイベントに参加できないので大切にしたいです。
- ・水棲生物がこんなに見つかるとは、びっくり。



川で水棲生物を探している参加者

